

議 事 録

会 議 名	第30回 宇都宮市環境審議会 議事録	
開 催 日 時	平成27年8月24日（月） 午後3時 ～ 午後5時	
開 催 場 所	宇都宮市役所 本庁舎14階 14A会議室	
出 席 者	環境審議会 委 員	金沢力委員，篠崎圭一委員，福田智恵委員，細谷美夫委員，伊藤直次委員，今井清人委員，大久保忠旦委員（会長），黒沢良夫委員，芝野三郎委員，高橋啓子委員，岩戸肇委員，金枝右子委員，北村里美委員，三宅徹治委員（副会長），橋本透委員，久我臣仁委員
	欠 席 者	近澤幸嗣郎委員，前橋明朗委員，朝田尚宏委員，江島ゆり子委員
	事 務 局	環境部長，環境部参事，環境部次長，環境部副参事，環境政策課長，環境保全課長，廃棄物対策課長補佐，ごみ減量課長，廃棄物施設課長，環境政策課エコエネルギー担当主幹，環境部総務担当主幹，環境政策課課長補佐，環境政策課職員4名，環境保全課職員2名
公開・非公開	公開	
傍聴者・記者	傍聴者0名，記者0名	
会議概要	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p> (1) 環境基本計画について</p> <p> ア これまでの経過について（報告）</p> <p> ⇒ 了承</p> <p> イ 環境基本計画 後期計画の考え方について</p> <p> ⇒ 了承</p> <p> ウ 環境都市像について</p> <p> ⇒ 了承</p> <p> エ 重点戦略の考え方について</p> <p> ⇒ 了承</p> <p> オ 温室効果ガス削減目標の設定について</p> <p> ⇒ 了承</p> <p> (2) （仮称）宇都宮市生物多様性地域戦略の策定について（報告）</p> <p> ⇒ 了承</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>	

発言要旨

議事 (1) 「環境基本計画について」

ア これまでの経過について (報告)

会長 議事の(1)「環境基本計画について」のうち ア「これまでの経過について (報告)」事務局より説明をお願いします。

事務局 — 資料に基づき説明 —

会長 委員の皆さんから何かございますか。
(意見なし)
それでは議事(1)のアについては承認ということによろしいですか。
(異議なし)

議事 イ 環境基本計画 後期計画の考え方について

ウ 環境都市像について

エ 重点戦略の考え方について

会長 次に議事のイ「環境基本計画 後期計画の考え方について」、ウ「環境都市像について」、エ「重点戦略の考え方について」についてまとめて審議したいと思います。事務局より説明をお願いします。

事務局 — 資料に基づき説明 —

会長 それでは議事に入ります。まず、イについてご質問、ご意見ございますか。

委員 都市像のイメージ図については、形成期、進展期、成熟期とそれぞれ図を作っていくという趣旨でよろしいか。

事務局 その通りである。環境都市像の各段階でどのような状況になっていくかを示していきたい。

委員 昨年度末に審議会に提示された環境都市像のイメージ図は1枚で描かれており一目瞭然でイメージがしやすいが、図が3枚となるとかえって分かりにくくなるのではないか。

事務局 昨年度末に審議会に提示された環境都市像のイメージ図は2050年頃をイメージした図である。これに至るまでの市民、事業者、行政にとって、目指すべき環境都市像の途中段階が分かるようにしていきたいと思う。ただ、委員がご指摘のとおり、ビジュアル化が難しい面もあると思うので、検討・作成したものに対して再度ご意見をいただければと思う。

委員 環境都市像のイメージ図は分かりやすいが、この都市像は、市全体の総意として検討されたものか、環境部に限定して検討されてきたものなのか。他の部局職員は見ているのか。

事務局 今回の審議会に向けて関係各課と議論を行っており、他部局からの意見も踏まえ今後作成していく予定である。

委員 市全体として検討されてきたと考えて良いか。

事務局 そのように考えていただいて良い。

委員 であれば、高速道路や新幹線など、もう少し分かりやすく加えた方がよいのではない
か。
 緑が多すぎると田舎のイメージにつながる、都市部をもっとコンパクトに表現できれ
ばと思う。

事務局 ご意見を受けながら作成していきたい。

委員 環境都市として推進しているイメージはこのレベルで考えているのか。もっと細かい
ところまで想定する必要があると思うが。

事務局 文字をすべてイメージ図に落とすことは難しいので、濃淡をつけ、重点戦略の部分な
ど濃いところをしっかりと描いていきたい。

委員 環境都市像を描くうえで、ベースにはネットワーク型コンパクトシティや都市計画を
意識されていると思う。都市計画と環境都市像がどのようにリンクしていくのか、庁内
で調整はあるだろうがどちらを優先するかという話が今後でてくると思う。環境側から
見るとこのような絵を描きたいが、都市計画側からするとどうだ、のように。今後、お
手並み拝見と期待しているところもある。よろしくお願ひしたい。

会長 都市計画にも環境側の意見を反映して欲しい。

事務局 そのように進めていきたい。

委員 環境都市像の段階的な区分のうち、低炭素分野の「成熟期」における“仕組み”に関
して、このように変えたらどうかという提案をしたい。
 この計画は30年先を考える超長期的なものなので、ぜひ夢を語りたいと思う。
 大阪市が、水道のインフラを東南アジアに輸出しているのにヒントを得た。
 「環境にやさしい地域環境マネジメントシステムを実現し、市域外に売り込むビジネ
スモデルを作り上げよう」
 地域とは、ネットワーク型コンパクトシティでいうところのそれぞれの核を想定して
いる、例えば雀宮地区の地域環境マネジメントシステム、具体的にはエネルギーの地産
地消の実現や廃棄物の地域循環の実施、生物多様性を保全する地域コミュニティができ
ているなど、こういったことを行政、市民、事業者が共同で作ってそのノウハウを売
り込んでいくような30年後の提案である。

事務局 夢の実現に向けて、ご提案内容について検討させていただく。

会長 エネルギーの地産地消といった分散化、地元でエネルギーを獲得し、地元で使用する
ということですね。

委員 廃熱エネルギーを地域にまわすような取組が、すでに試行されている。

委員	<p>全般として、科学やエネルギー的な側面に偏った内容であるとの印象を受けた。</p> <p>例えば、あらゆるところに「自然環境」、「里山の保全」とあるが、実際には里山はどんどん減少している。「身近なところで里山保全が進み」とあるが、実際には里山保全に具体的に取り組んでいるとは思えない。</p> <p>都市計画とすり合わせを行わないと山林や里山はなくなるばかりである。</p> <p>夢を描いているのはわかるが、宇都宮市はグリーントラストの活動が弱い。お金を出資する企業も少なく、会員数も少ない。</p> <p>里山があると、枯葉や落ち葉の苦情が増えるが、自然を守るためにはそのようなことが当たり前と思えるようでないといけない。落ち葉が飛んできて仕方がないと思えるような。そのためには、市民の意識啓発を、子どものころから行うことが必要と思う。科学や技術だけでなく、人づくりが大切であると思う。</p>
事務局	<p>市街地近郊の自然環境が減少しているご指摘はそのとおりである。</p> <p>データによれば、平成5年ころから平成19年にかけて緑被率が7.5ポイント低下している。市は都市緑地として58.8haの公有地化を目指そうとしており、現在、戸祭山緑地や鶴田沼緑地の計画的な用地取得や、保全契約を行った樹林地等の管理をグリーントラストと連携して行っている。しかし、まだ取組が足りないという意見もいただいております。里山保全の手法等について検討していく。</p>
委員	<p>里山を維持できない理由として、相続税の問題がある。これは国税の問題でもあるので難しいが、この問題をクリアしないと市街化区域の里山の保全はできないと考えている。</p> <p>相続税を支払うために、まずは山林を売ってしまおうということになる。</p> <p>市街地の農地は耕作すれば20年間相続税を猶予できる。このような仕組みを、宇都宮市が実施できるか分からないが、宇都宮市が積極的にそのような働きかけをしていく必要があると思う。</p>
委員	<p>「形成期」においては、家庭や事業所をターゲットにした取組が見られる。形成期はあと5年しかない。事業者は環境目標値を設定し、取組が進んでいると思うが、家庭部門におけるCO2の排出量削減やごみの分別、もったいない運動など、環境配慮行動はまだまだ弱いと感じている。まずは家庭で取組が進み、地域、市域へ進んでいく計画になっているので、まずは家庭での環境教育や協力を強く出していっても良いと思う。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、家庭部門におけるCO2排出量は増加している。</p> <p>本市においては、環境ISOを推進するため、学校版、家庭版、事業所版を設定し、環境配慮行動の促進に取り組んでいるが、より一層強化していきたいと思う。</p>
委員	<p>リサイクル推進委員や自治会に協力を得ながら、施策を進めていけばいけないと思う。</p> <p>また、里山保全の補助制度はどのようになっているのか。</p>

事務局

補助制度については調べさせていただく。

《宇都宮市》

- ・ グリーントラストうつのみやへの補助
里山保全活動等を行うグリーントラストに対し、活動費の一部を補助
- ・ 多面的機能支払交付金
地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動や施設の長寿命化のための活動を支援

《栃木県》

- ・ とちぎの元気な森づくり県民税事業（明るく安全な里山林整備事業）
地域の里山林を、管理団体が継続して管理・活用する際の整備費用の一部を補助

《国》

- ・ 森林・山村の多面的機能発揮対策交付金
地域住民、森林所有者等が協力して行う、里山林の保全管理活動等に必要な費用を支援

委員

イメージ図についてであるが、市としてコンパクトシティを目指しているが、高齢者や障がい者も暮らしやすい、移動しやすいということが見て分かるようにしたら良いと思う。

事務局

高齢者の視点は特に重要であると認識している。

委員

里山保全に関しておかしいと思うのは、落ち葉をごみとしてしか扱えず活用ができないという点である。昔は落ち葉で焚き火などをしていたが、最近では落ち葉を集めて燃やしていたら消防や警察を呼ばれて罰せられてしまう。

今まで里山と共生していた営みが法律で全て罰せられるようになってしまった。環境都市を目指す宇都宮としては、こういった意見を国などに上げていくというのも重要だと思う。

事務局

廃棄物の処理及び清掃に関する法律においては、伝統行事等に伴うものは認められているがそれ以外はダイオキシンの問題もあり認められていない。法を超えてというのは難しいとは思いますが、参考意見とさせていただきます。

会長

その他意見はありますか。なければ、イ、ウ、エについて承認ということによろしいか。

各委員

異議なし

議事 オ 温室効果ガス削減目標の設定について

会長

それでは、次に議事のお「温室効果ガス削減目標の設定について」事務局から説明をお願いします。

事務局

— 資料に基づき説明 —

会長

何かご質問、ご意見などありますか。

委員

市内で削減可能なポテンシャルの推計のうち廃棄物部門については0.4 t-CO2とあるが、ここだけ数値が少ない印象を受ける。資源循環を進めたり、発生抑制を進めたりすればもっと数値が上がるのではないかと思う。ここだけ数値が少ないのは何か理由があるのか。

事務局	数値については国が示す算出方法に基づき活動指標を人口として算出している。そのため大きい数字にならない。
委員	人口が減少することで、産業廃棄物部門のCO2も減少するというような説明であったが、詳しく解説して欲しい。
事務局	<p>廃棄物部門の考え方であるが、国のCO2算出基準においては、まず、今後ごみの分別や処理方法の高度化などによる削減効果を設定している。</p> <p>特に廃棄物部門においては削減効果が全体に占める総量が少ないなかで、日本全体の人口の比率で按分しているため、宇都宮市の人口減や施策がCO2の削減に直結する訳ではない。</p>
委員	削減できるであろう数値で良いのか。
事務局	良い。
委員	<p>廃棄物の1つである生草の処理が問題になっている。市民が草を干して枯れ草にして燃やすと問題になる。ごみ処理場では生草の処理に対してどのように対応しているのか。手を打っているのか。発生抑制できていないとなると本末転倒である。</p> <p>環境部として方策は考えているのか。落ち葉は資源である。資源として活用できるような仕組みをつくる必要がある。</p>
事務局	剪定した枝はチップ化して資源として活用できないか検討している。現在、策定している一般廃棄物基本計画の中でも施策を考えている。
委員	<p>剪定枝の利活用は全国で既にやっている。今頃、検討したり研究したりする段階ではない。</p> <p>年々、剪定枝や落ち葉などが増えている。何かしらの手を打つべきと考える。</p>
会長	その他ご意見はありますか。なければ協議事項（オ）については、条件つきにはなるが承認ということでよろしいか。
各委員	異議なし。

議事 (2) (仮称) 宇都宮市生物多様性地域戦略の策定について (報告)

会長	それでは議事の(2) (仮称) 宇都宮市生物多様性地域戦略の策定について (報告) 事務局から説明をお願いします。
事務局	— 資料に基づき説明 —
会長	ご質問、ご意見ありますか。
委員	<p>生物多様性地域戦略を策定されるにあたり、次の3点を考慮いただきたい。</p> <p>環境教育の充実、市民の環境保全活動の情報共有、里山保全活動の参加の仕組みを取り入れていただきたい。</p>

事務局	ご意見を踏まえて戦略を策定していきたい。
委員	宇都宮市内でレッドデータブックに該当するような種はあるのか。
事務局	シルビアシジミという蝶は重要種となっている。 トウキョウサンショウウオは県の絶滅危惧種に指定されている。 また、宇都宮市は、カワラノギクが生息できる北限地といわれている。
委員	そういったところを、リーフレットにも記載すべきではないか。
委員	貴重な種を保全することも重要であるが、外来種の駆除にも力を入れて欲しい。 最近、黄色い花で、宝木団地周辺に繁殖している植物がある。富士山でも問題になっている外来種であるが、そのような駆除をどのように考えているのか。
事務局	どれが外来種かどうか分からないことが多いと思うので、生物多様性地域戦略の中で市民に啓発していきたい。また、先ほど委員がご指摘された外来種はオオキンケイギクと推測される。
委員	リーフレットは資料として薄いと思う。取組状況についても文化的な内容が入っており、生物多様性と関係がない情報が入っている。また、個別の取組が行われており、地域戦略を策定する必要性はないと思う。 側溝の整備により、カエルがいなくなっている。一度、側溝が整備されると元には戻せない。計画策定は行政の得意とするところであろうが、里山の保全や剪定枝をはじめ、市民が困っている身近な問題に力を入れるべきではないか。 「里山が維持されている」といった文言を記載しているようでは危機感が感じられないと思う。
委員	親の都合で盛岡市や長野県の諏訪市などに居住していた。自然にふれる機会が多い環境で育った。 そのような状況と宇都宮市を比較して感じることで、例えば、バス停で下車すると、側溝が見えるが、そこにはドジョウもいない。カエルもいない。生物がいない状況のなかで、生物多様性と話が出ていかなものか。生物が住める環境が整っていない現状を行政は認識してもらいたい。
委員	環境教育といえば、家庭では、殺虫剤や虫除けスプレーなどをすぐ使用するが、そういったものをつけて森に入れば虫が死んでしまう。 山には長袖・長ズボンで入るなど、家庭から環境教育が必要であると思う。殺虫剤や農薬などをできるだけ使わないで、動植物たちができるだけ育成できるような環境を進めてほしい。そういった取組を生物多様性地域戦略においても位置づけて欲しい。
事務局	農薬や殺虫剤等については適正な使用が重要と考えている。また、虫除けなどは個人差や価値観も異なる場合もあるため、ご意見として伺う。

会長	<p>生物多様性については、教育が一番大切であると考えている。</p> <p>最近危惧しているのは酪農家が使用している牧草類である。外来種が多く農林水産省からも問題視されているものもあるが、一概に駆除対象としてしまうと農家に迷惑かける場合もある。どこまでを外来種として駆除の対象とするのか難しい問題である。</p> <p>オオハンゴンソウなどは、外来種の対象になっており、農林水産省も駆除などの対策を立てているところである。</p> <p>本来、南方にいた昆虫類が地球温暖化により北上し、人に刺すような被害も発生している。</p>
事務局	<p>生物多様性に関する情報について、市民の理解を進められるように、教育や啓発に取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>宇都宮市北部ではイノシシが問題になっている。最近、電気柵による死亡事故などで話題となったが、実態を調べてもらった方が良いのではないか。かなり地域では困っていると思う。イノシシの駆除の方法はどのようになっているのか。</p>
委員	<p>捕獲すると市から1頭あたりいくらか補助金が出ているが、放射能の問題もあり食することもできず、埋設場所等にも困っている。ハンターも高齢化で少なくなっている。今は豚と交配したイノブタという種類のイノシシがおり、繁殖力が非常に高く駆除に苦慮している。</p>
委員	<p>環境問題を解決するためには一朝一夕には良くなる。2050年を見据えた計画と伺い、少しほっとしている。基本的には家から出るごみは水を絞ってからなど、家庭から取り組みが必要である。ぜひ市民に呼びかけてほしい。私たちの責任もあると感じることができた。</p>
委員	<p>一部レジ袋の有料化もされているが、スーパーなどで商品を購入した際のマイバックについてどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>レジ袋の削減などについては、大型店舗に協力を呼びかけたりしている。市民に対してはマイバックの推進についてお願いしている。</p>
委員	<p>レジ袋については、一時より市民の関心が低いと思う。市民が関心を持たせるような工夫を早く打つべきであると考え。特に若年層の取組がよくない。各家庭で親が子どもに教えること、水切りの励行やマイバック促進などに向けた知恵を出して欲しい。</p>
事務局	<p>市民への啓発や協力依頼については、一般廃棄物処理基本計画の中でも位置づけるとともに、積極的な協力を呼びかけていきたい。</p>
会長	<p>他にご質問はございませんか。では(2)宇都宮市生物多様性地域戦略について、承認いただいたということでしょうか。</p>
各委員	<p>—異議なし—</p>
会長	<p>それでは、「4. その他」に移ります。 事務局から何かございますか。</p>

事務局	議事録の確認、次回の開催予定について
会長	その他何か委員からありますか。
委員	計画の話ではないのだが、放射能を含む大量の土の処理について宇都宮市の現状と今後についてどのように考えているのか伺いたい。
事務局	指定廃棄物のことだと思うが、国が最終処分場について検討しているが、なかなか進んでいない現状がある。国が主導で行っていることであり、市の環境基本計画の中で書けるような内容ではないと考える。
会長	ほかに何かありますか。なければ、議事は終了します。進行を事務局にお返しします。
事務局	以上をもちまして、「第30回 宇都宮市環境審議会」を閉会いたします。